

熊本県新広域道路交通計画について

1) 計画の目的

新たな国土構造の形成やグローバル化、国土強靭化などの新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化やICT・自動運転等の技術の進展を見据え、今後の広域道路の基本計画を策定するもの。

2) 計画の期間 概ね20年～30年間 ※社会情勢の変化や制度の変更が生じた場合は、必要に応じて見直しを行う

3) 策定主体 熊本県・熊本市

4) 計画の構成 「新広域道路交通ビジョン」と「新広域道路交通計画」の2部構成

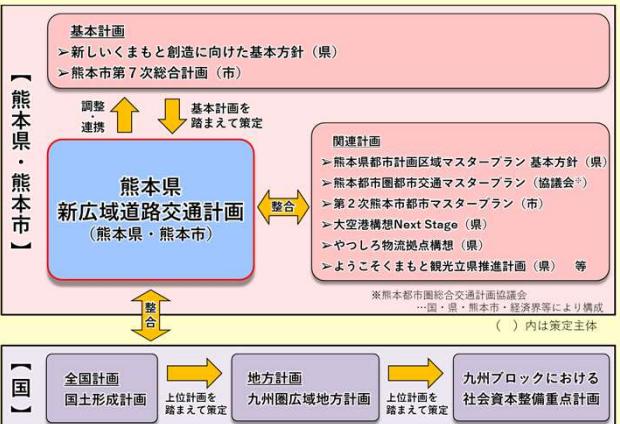
第1部 新広域道路交通ビジョン（基本方針）

第1章 熊本県の地域特性と将来像

■熊本県・熊本市の基本計画をベースに社会・経済の現状や見通しを踏まえ、目指すべき姿（将来像）について整理

1) ビジョンの位置づけ

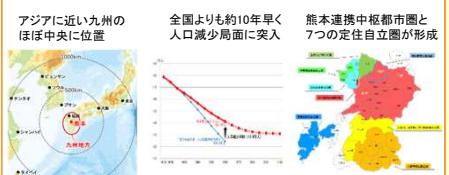
○国や県、熊本市の基本計画をベースに、社会経済の現状や見通しを踏まえて策定



3) 熊本県の地域特性

○九州の中央に位置し、県下に生活圏域が形成。製造企業の集積や農業が盛ん、豊富な観光地があり今後も成長が期待される。
○桜町バスターミナルや八代港をはじめ交通拠点が進展。近年大規模な災害に見舞われており、災害に負けない社会基盤が求められる。

【地理的特性・人口動向・生活圏域】



【産業の動向】



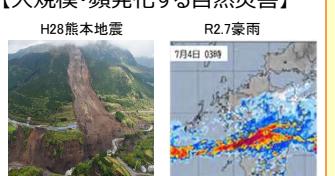
【観光の動向】



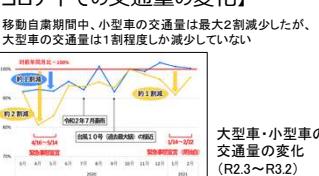
【物流・交通拠点の進展】



【大規模・頻発化する自然災害】



【コロナ下での交通量の変化】



4) 目指すべき将来像

【熊本県の将来像】

1. 世界とつながり活力があふれる熊本

世界との交流環境、九州各県との連携・交流環境の充実

2. 地域の特性が活かされ暮らしやすい熊本

地域産業の発展、観光産業の成長、拠点や地域ミニマニティが充実

3. 災害に強く県民が安心して暮らせる熊本

災害に負けない社会基盤、防災体制の充実

【熊本市の将来像】

1. 九州中央の広域交流拠点都市

地域連携の中心、九州の発展をけん引、防災体制が充実した都市

2. 暮らしやすく賑わいが創出された都市

交通拠点を中心市街地等の移動が充実、地域経済が活性化、利便性が高く暮らしやすい多角連携型の都市

3. 多様な交通手段が連携した都市

交通混雑が緩和し移動しやすく、都市交通がベストミックスした都市

第2章 広域的な交通の課題と技術革新を踏まえた新たな取組

■地域における広域的な交通の課題や取組について、平常時・災害時及び物流・人流の観点から整理

【平常時における課題】

九州各都市とのミッシングリンクの解消

・九州の横軸道路など九州各県を結ぶ道路ネットワークが整備途上である
・ミッシングリンクが存在する区間は、サービス速度が低い
・地理的特性を活かし、地域産業の発展に資する、九州各都市をつなぐ道路ネットワーク整備が求められている

県内における道路整備率の向上

・県内の道路整備率が全国及び九州の平均を下回っている
・人口減少社会に適応する、拠点都市を結ぶ道路ネットワークが整備途上

熊本都市圏における交通渋滞の解消

・県内の渋滞箇所の8割が熊本都市圏に集中し、平均旅行速度が全国の政令市でワースト1位

物流・交通拠点へのアクセス性の向上

・熊本市中心部から熊本空港までの移動時間が長く、時間信頼性が低い
・製造拠点から熊本港への移動時間が長く、時間が不確実である
・熊本市中心部から高速道路I Cへの所要時間が長く、時間信頼性が低い
・増加する輸送への対応が求められている

人流・観光ネットワークの充実

・九州各県及び県内各地の観光地を周遊するルート形成が求められている
・増加するインバウンドや国内観光客への対応が求められている
・総合的な交通ネットワークの形成や異なる交通モードとの連携が必要

【災害時における課題】

輸送ルート・代替ルートの確保

・大規模災害への備えとして、避難・救援車両や物流車両の円滑な活動に資する、災害に強い道路やリダクションの確保が求められている
・大規模災害においても交通機能を確保するため、高規格幹線道路の4車線化とダブルネットワークの形成が求められている

防災拠点の機能強化

・大規模災害への備えとして、道の駅等における防災機能の強化が求められている

【技術革新を踏まえた新たな取組】

地方部における移動を支援する取組

・道の駅「芦北こどもの里」において、自動運転サービス実証実験が行われた
・荒尾市においてA Tタクシーが導入されている

地域の交通課題解消に向けた取組

・渋滞対策においてビッグデータ等が活用されている

公共交通の利便性向上のための取組

・バスロケーションシステム「バスきたくまさん」が運用されている

第3章 広域的な道路交通の基本方針

■前章で述べた広域的な交通の課題や技術革新を踏まえた新たな取組から、「広域道路ネットワーク」「交通・防災拠点」「ICT交通マネジメント」の3つの観点により、広域的な道路交通の基本方針を定める。

【広域道路ネットワーク】



【交通・防災拠点】

- 九州各県を結ぶ循環型高速交通ネットワークの形成
- 地域や拠点間を連絡する道路ネットワークの形成
- 熊本都市圏における円滑な交通ネットワークの形成
- 災害に強い道路ネットワークの形成



【ICT交通マネジメント】

- 自動運転社会を見据えた道路施策の検討
- ICTを活用した道路情報の収集・活用等



